

平成 30 年度第 1 回滋賀県職業能力開発審議会 概要

- 1 日時
平成 30 年 8 月 27 日（月） 午後 2 時から午後 4 時まで
- 2 場所
大津合同庁舎 7 - A 会議室
- 3 出席委員（敬称略）
佐藤、田邊、木谷、阪本、山本、山下、大島、和田（孝）、北川、
和田（光）、上田、大江、相澤、東
の各委員（出席 14 名）
- 4 事務局
片岡労働雇用政策課長 他 3 名
- 5 その他の出席者
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構滋賀支部（以下「機構」
という。）滋賀職業能力開発促進センター

滋賀労働局職業安定部訓練室（オブザーバー）
- 6 議事概要
 - (1) 会長の選任について
「滋賀県職業能力開発審議会条例」第 5 条第 2 条により、委員の選挙
により選任することとし、学識経験者委員の佐藤委員を会長に選任した。
 - (2) 滋賀の職業能力開発施策の概要について
(資料により事務局、機構出席者が説明)
 - (3) 高等技術専門校の訓練科の再編について
(資料により事務局が説明)

【主な意見等】

議題1 会長の選任について

※意見無し

議題2 滋賀県の職業能力開発施策の概要について

[委員：労働者代表]

資料にある滋賀の産業を支える人づくり事業とは給与をもらいながら職業訓練を受講するということか。

(事務局)

当事業は人材派遣会社等に雇用されながら、訓練を受講する事業である。訓練期間中は給与が支給される。

社会人と各分野毎の基礎訓練を行った後、職場実習を行い、実習先と研修生の合意があればそこに就職していただくという事業である。

[委員：事業主代表]

施設内訓練において、入校生数に比べ修了生数が減っているが、どのような理由で退校されたのか。

(事務局)

様々なケースがあるが、多くは訓練を受けながら就職活動を行い、訓練期間内に就職が決まり退校された方である。

[委員：事業主代表]

例えば溶接の訓練科などは、全く溶接の機械を触ったこともない方が入校されるのか。あるいはある程度溶接の経験がある方が入校されるのか。

(事務局)

経験者が入校されるケースもあるが、ほとんどは未経験者である。もちろん未経験者の方でも訓練終了時には、少なくとも企業が求める最低限の技能は身に付くようにカリキュラムを設定している。

[委員：事業主代表]

CADに関する訓練は2-D CADに関するものか。

(事務局)

3-Dの技術も教えるが、基本的には2-DのCADに関する訓練である。

[委員：学識経験者]

実習付き訓練を、他の訓練科でも行う予定は無いのか。

(事務局)

実習受入先の確保の問題があるので、他の訓練科まで拡大することが難しい。

議題3 高等技術専門校の訓練科の再編について

[委員：事業主代表]

多能工は必要である。しかし、若い方で器用な方は数か月ずつ、短期間に色々な技能を身に付けることができると思うが、一般的に中高年齢の方には、多種多様な技能を習得されることは難しいと思う。訓練カリキュラムや教え方も一つに限定するのではなく、色々なパターンがあれば良いと思う。

[委員：学識経験者]

就労条件が良くなっているなかで、正職員として工場等で働くよりも、近所のスーパーマーケットでパートとして1,000円を大きく超える時給を貰う方が女性にとって魅力のある職場となっている。このような情勢のなかで、今回の訓練科の再編が、女性の訓練生増につながるかどうかは疑問である。

また、滋賀県は人口減少が少ない県であるが、両親の支援が得られない核家族が多いため、子育て中の女性が訓練したり、就労したりするためには子どもを預けられる場所が必要である。

[委員：学識経験者]

今の委員のご意見は大変重要な事であるが、職業能力開発行政だけで解決できることでは無く、行政の縦割りを超えたもっと上のレベルで政策判断をしていただく事項だと考える。事務局におかれては当審議会でこのような意見があったことを関係部署にお伝えいただければ幸いである。

[委員：学識経験者]

訓練の再編について、カリキュラム作成や募集要項の作成などスケジュール的には大丈夫か。同様の事例を大学で行うとすると、最低でも2年前から準備しなければならないが。

(事務局)

カリキュラム作成や訓練機器の整備についても、スケジュールどおりに訓練を開始できるよう準備を進めているところである。

[委員：事業主代表]

充足率が低い訓練科について再編するという考えも分かるが、充足率が高い訓練科の定員を拡大するという考えはどうか。例えば滋賀県の地場産業である繊維関係の事業所等は、縫製ができる人材を欲しがっているので、充足率の高い服飾デザイン科の定員を増やせないか。

(事務局)

服飾デザイン科の訓練生の就職先の多くは縫製より、販売やデザイン関係である。縫製は外国人技能実習生が多く、就職先が少ないのが現状である。

[委員：事業主代表]

単純な縫製作業は、事務局のお答えのとおりであるが、オーダーメイドなど高度な技術が必要な縫製業務は人材が不足している。

(学識経験者委員)

現在、機械系を専攻している学生の就職状況は非常に好調である。希望どおりか、当初の希望より一ランク上の企業にすぐに就職できる。このような状況のなかで、ある程度充足率が落ちるのは、致し方ないことと思う。

また、今は景気が良いが、一旦景気が悪くなると訓練を希望する求職者が増える。したがって充足率が低だけの理由で訓練科を再編や縮小してしまえば景気が悪くなった時に求職者のニーズに対応できないかもしれない。

今後景気が悪化した場合にも対応できるよう、訓練科の再編については慎重に行うべきである。

(事務局)

今回の再編は、限られた人材や設備を活用して、求人・求職ニーズに対応できるように最小限の再編を行うものである。委員に御指摘いただいたように職業訓練は求職者のライフラインとして、重要な役割を持つことを今後も忘れず、施策を推進して参りたい。

[委員：学識経験者]

産業構造のグローバル化が進む中で、日本の製造業は国際競争の中で、相対的に力が弱くなっているのが現状である。

例えば服飾などはものづくり分野である反面、デザイン等に創造性が必要であるなどソフト的な側面もある。基本的な技能をしっかりと身に付けさせた上で、個人の発想や創造性を伸ばすような訓練の方向性もご検討いただければと考える。

[委員：労働者代表]

新しい訓練科の名称を見ると、他の訓練科と同じような名称のものもあり、名称から訓練の内容をイメージできないように思う。

(事務局)

目新しさを出すために、訓練科の名称を一新するつもりで新しい名称を考えたが、委員の御指摘のとおり一目見て訓練の内容がイメージできるかと言えば難しいと思う。訓練の内容については、訓練説明会等で詳しく、丁寧に説明していきたい。

[委員：学識経験者]

名称も大切だが、カリキュラム等の中身が重要である。効果的な訓練が実施できるようカリキュラム等の内容の充実に努めていただきたい。

[委員：事業主]

当業界はデザインができる人材を必要としている。専門学校等でデザインを専攻してきた人材は、デザインが学術的や芸術的な方向に振れている傾向があり、なかなか現場の即戦力になり得ない現状がある。効果的なデザイン構成やそのデザインをかたちにする造形力等を学べる機関が少ないように感じている。このような部分を習得できる訓練を実施していただければありがたい。

また、CADの訓練科では、プログラムの応用のなかで、3-Dプリンターを使える技術も教えていただければと思う。

既存の設備や人員の枠組みの中で訓練科の再編を行う事はもっともであると思うが、反面、そのような制約にとらわれず、他府県には無い訓練科を作っていただければ他府県からも多くの訓練生が集まると思う。

(事務局)

今回の再編では委員のご要望にお応えすることは難しいが、今の委員のご意見を参考にするとともに、求人ニーズや求職者ニーズを意識し、今後も随時訓練科の再編について検討していきたいと考えている。

[委員：学識経験者]

高等技術専門校を訪問し、職業訓練指導員の皆さんとざっくばらんに意見交換ができる機会を設けていただければありがたい。

以 上